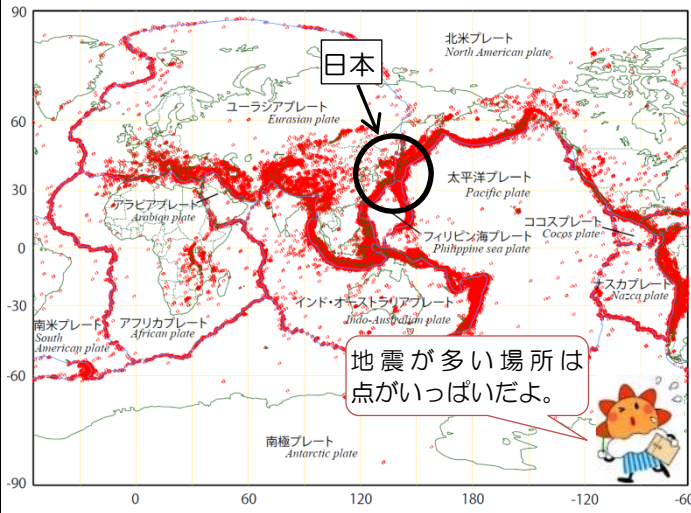


「地震が多い国、日本！」

世界で起こる地震 日本は地震が多い国！



地震は地下で起きる岩盤の「ずれ」による発生する現象で、世界中には、地震の多い地域とほとんど起こらない地域があります。

地球の表面はプレートと呼ばれる十数枚の岩盤の層でおおわれています。このプレートはゆるやかに移動しているため、プレート同士がぶつかる場所(では、地震が起る原因となるエネルギーがたまっています。

そのため、4つのプレートが日本付近に位置している日本は、とても地震が多くなるのです。

世界の主なプレートと地震(赤い点)の分布

赤い点のひとつひとつが地震です。マグニチュード※5以上の地震は、およそ10回に1回が日本付近で起こっています。

※マグニチュード：地震の大きさを表す数値
数値が大きいほど大きな地震



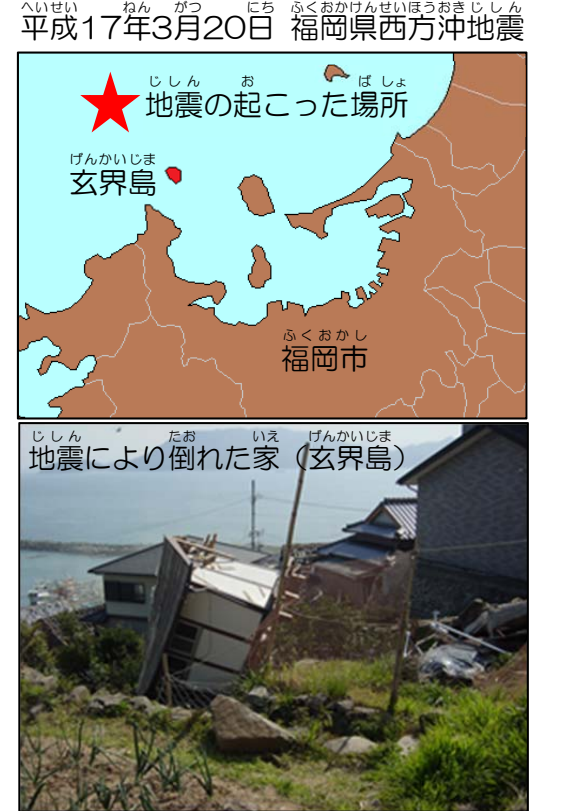
2014年	1月7日	火曜日
平成26年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

地震のときはあわてずに身を守ろう！ 福岡でも地震が起こるよ

日本では、いつでもどこでも地震が起きる可能性があります。まさか自分の住んでいるところで地震が起こると思えないでしょうが、実は福岡でも大きな地震が起きたことがあります。

平成17年(2005年)3月20日に福岡県の玄界灘で地震が起きました。この地震によって福岡市の玄界島では大きな被害がありました。

地震の時には、家具が倒れたり、窓ガラスが割れたりします。ブロック塀が倒れることもあります。もし地震にあったら、あわてずに危険な場所から離れて、まずは頭を守るようにしましょう。



注意 ◎緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早くお知らせします。

☆緊急地震速報を見聞きしたら、地震の揺れを感じたら、まわりの人にも声をかけながら、あわてずまず身を守りましょう！

なまずが暴れると地震が起こる？



江戸時代には、地面の下で大きななまずが暴れることによって地震が起こると信じられていました。そのため、庶民がこのようななまずを懲らしめている「なまず絵」※が描かれ、江戸の町に出回ったそうです。

今では考えられないことですが、地震をなまずのせいにするなんておもしろいですね。

※なまずの怪物を描いた浮世絵と呼ばれる絵画

なまず絵(国立科学博物館所蔵)

「お天気 Q&A」

Q：世界で一番大きな地震はどんな地震ですか？

A：1900年以降では、1960年(昭和35年)5月23日に南米チリ沖で発生したマグニチュード9.5が一番大きな地震です。

この地震により発生した津波は、約1日かけて、地球の反対側にある日本にも押し寄せました。津波の高さは5mを超えた所もあり、日本全国で死者・行方不明者142名などの大きな被害をもたらしました。

1900年以降の大きな地震上位5位

順位	発生した日	発生場所	マグニチュード
1	1960年05月23日	チリ	9.5
2	1964年03月28日	アラスカ湾	9.2
3	2004年12月26日	インドネシア、スマトラ島北部西方沖	9.1
4	2011年03月11日	日本(三陸沖)	9.0
4	1952年11月05日	カムチャッカ半島	9.0

気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから

気象庁 検索

携帯から

防災情報 検索